

第 3 4 期 決 算 公 告

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

奈良県生駒市東生駒一丁目 6 1 番地 7
南都カードサービス株式会社
代表取締役社長 大田 直樹

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	3,798,819,358	【 流 動 負 債 】	3,011,350,707
現金及び預金	7,634,759	短期借入金	1,546,014,115
会員未収金	3,284,713,146	加盟店未払金	631,746,464
他社等未収入金	387,070,921	未払金	659,448,478
営業貸付金	61,881,995	未払賞与	9,458,759
未収収益	85,680,065	未払費用	48,273,511
貯蔵品	18,279,774	未払消費税	2,822,600
立替金	2,703,366	未払法人税等	12,693,900
前払費用	32,908	預り金	11,562,654
その他流動資産	△ 8,253,894	前受収益	4,679,516
貸倒引当金	△ 40,923,682	販売促進引当金	46,752,712
		保証債務損失引当金	33,975,486
		その他流動負債	3,922,512
【 固 定 資 産 】	137,657,924	【 固 定 負 債 】	36,520,447
(有形固定資産)	9,568,819	利息返還損失引当金	3,374,747
建物	6,939,758	退職給付引当金	33,145,700
建物付属設備	1,619,276		
工具器具及び備品	1,009,785		
		負 債 の 部 合 計	3,047,871,154
(無形固定資産)	2,018,337	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	2,018,337	【 株 主 資 本 】	888,606,128
		資本金	50,000,000
(投資その他の資産)	126,070,768	利益剰余金	888,331,128
出資金	5,870,000	利益準備金	12,500,000
破産更生債権等	223,391,841	その他利益剰余金	875,831,128
貸倒引当金	△ 223,391,841	(繰越利益剰余金)	875,831,128
繰延税金資産	120,100,768		
差入保証金	100,000	自己株式	△ 49,725,000
		純 資 産 の 部 合 計	888,606,128
資 産 の 部 合 計	3,936,477,282	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	3,936,477,282

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

① 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定する。）

② 時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）・・・定率法（但し、建物（平成10年4月1日以降取得したもの）及び建物附属設備・構築物（平成28年4月1日以降取得したもの）については定額法。）

②無形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法

③リース資産・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、予め制定した償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産・弁護士介入等、法的・形式的に破産の事実が発生している先に係る債権及びそれと同等の状況にある先への債権については、その全額を計上しております。

また、現在はその状況にないが、今後その状況に陥る可能性が大きいと認められる先への債権については、必要と認められる額を計上しております。

上記以外の先への債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率に基づき計上しております。

②保証債務損失引当金

保証債務に対する貸倒損失に備えるため、予め制定した償却・引当基準に則り、算出した求償債権に係る貸倒実績率を保証債務残高に乗じた額を計上しております。

③退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、必要額を計上しております。

④販売促進引当金

会員に対しワールドプレゼントポイントとして付与している商品交換ポイントについて、その引き換えに備えるため、商品交換予想ポイントに商品交換実績単価を乗じた額を計上しております。

⑤利息返還損失引当金

会員等からのグレーゾーン金利に対する利息返還請求に備えるため、過去の利息返還の発生状況に基づき、将来の利息返還損失額を見積もったものであり、債権分類ごとに合理的見積期間に係る利息返還請求件数の請求実績率、平均返還請求額等から将来返還が見込まれる額を一括して計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

費用収益対応の原則により計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

税抜き方式により採用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数	普通株式	1, 000株
当該事業年度の末日における自己株式の種類及び総数	普通株式	425株

○当期純利益 71, 538, 071円